第６回　三　朝　町　議　会　定　例　会　会　議　録　（第３日）

平成25年９月11日（水曜日）

議事日程

平成25年９月11日　午前10時開議

（質　疑）

日程第１　議案第55号　平成25年度三朝町一般会計補正予算（第４号）

日程第２　議案第56号　平成25年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）

日程第３　議案第57号　平成25年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）

日程第４　議案第58号　平成25年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第１号）

日程第５　議案第59号　平成25年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第１号）

日程第６　議案第60号　平成24年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第７　議案第61号　平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第８　議案第62号　平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第９　議案第63号　平成24年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第10　議案第64号　平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第11　議案第65号　平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第12　議案第66号　平成24年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第13　議案第67号　平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第14　議案第68号　平成24年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第15　議案第69号　平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第16　議案第70号　平成24年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第17　議案第71号　平成24年度三朝町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

日程第18　議案第72号　平成24年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について

日程第19　議案第73号　三朝町特別会計設置条例の一部改正について

日程第20　議案第74号　三朝町基金条例の一部改正について

日程第21　議案第75号　三朝町税条例の一部改正について

日程第22　議案第76号　三朝町国民健康保険税条例の一部改正について

本日の会議に付した事件

（質　疑）

日程第１　議案第55号　平成25年度三朝町一般会計補正予算（第４号）

日程第２　議案第56号　平成25年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）

日程第３　議案第57号　平成25年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）

日程第４　議案第58号　平成25年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第１号）

日程第５　議案第59号　平成25年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第１号）

日程第６　議案第60号　平成24年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第７　議案第61号　平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第８　議案第62号　平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第９　議案第63号　平成24年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第10　議案第64号　平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第11　議案第65号　平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第12　議案第66号　平成24年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第13　議案第67号　平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第14　議案第68号　平成24年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第15　議案第69号　平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第16　議案第70号　平成24年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第17　議案第71号　平成24年度三朝町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

日程第18　議案第72号　平成24年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について

日程第19　議案第73号　三朝町特別会計設置条例の一部改正について

日程第20　議案第74号　三朝町基金条例の一部改正について

日程第21　議案第75号　三朝町税条例の一部改正について

日程第22　議案第76号　三朝町国民健康保険税条例の一部改正について

出席議員（12名）

１番　清　水　成　眞	２番　藤　井　克　孝
３番　吉　田　文　夫	４番　福　田　茂　樹
５番　遠　藤　勝太郎	６番　平　井　満　博

7番　松　村　　修	8番　横　木　文　雄
9番　知久馬　二三子	10番　山　田　道　治
11番　杉　原　憲　靖	12番　牧　田　武　文

欠席議員（なし）

欠　　員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	石　井　秀　己	副主幹	小　椋　智　子

説明のため出席した者の職氏名

町長	吉　田　秀　光	副町長	森　脇　光　洋
教育長	朝　倉　　聡	国民宿舎事業管理者	知久馬　孝　紀
会計管理者	山　根　智　美	危機管理課統括監	松　原　茂　隆
総務課長	山　根　猛　昭	総務課参事	吉　田　弘　幸
財務課長	大　村　哲　也	税務課長	石　原　伸　二
町民課長	小　椋　泰　志	健康福祉課長	前　田　敦　子
農林課長	岩　山　靖　尚	企画観光課長	椎　名　克　秀
建設水道課長	早　苗　睦　巳	教育総務課長	遠　藤　英　臣
生涯学習課長	西　田　寛　司	生涯学習課参事	松　原　照　宗
農業委員会事務局長	真　嶋　峰　和	国民宿舎支配人	小　椋　　誠
教育委員会委員長	西　田　　醇	農業委員会会長	山　本　雅　之
代表監査委員	和　泉　澤　吉		

午前９時５７分開議

○議長（牧田　武文君）　ただいまの出席議員は１２名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告いたします。

日程第１　議案第５５号　から　日程第２２　議案第７６号

○議長（牧田　武文君）　お諮りいたします。本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第１から日程第２２までの２２件の議案を一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第１から日程第２２まで、すなわち議案第５５号から議案第７６号までの２２件の議案を一括議題といたしたいと思います。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、１件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第５５号、平成２５年度三朝町一般会計補正予算（第４号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第５６号、平成２５年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第５７号、平成２５年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第５８号、平成２５年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第１号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第５９号、平成２５年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第１号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第６０号、平成２４年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について、まず事項別明細書の歳入の町税から手数料の農林水産業費手数料まで、１８ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、国庫支出及び県支出金について、１７ページから３０ページまで、教育費委託金まで、質疑ありませんか。

１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　２０ページですけども、放課後児童健全育成事業で、説明資料のほうですと７３ページになるんですけども、この国庫補助金が人数によってほとんど変わらない、ここはどういう理由か、ちょっと説明をお願いしたいんですが。（「ちょっともう一度、マイクに近づいて」と呼ぶ者あり）

７３ページ、説明資料を開いてください。

○議長（牧田　武文君）　マイクに近づいてお願いします。聞こえんもんで。

○議員（10番　山田　道治君）　７３ページ、説明資料で見ていただいたほうが。

学童クラブ開設費、3つありますよね。そこので国庫補助金があんまり変わらないと、人数は随分違うのにということで、その理由をちょっとお聞きしたいということです。

○議長（牧田　武文君）　小椋町民課長。

○町民課長（小椋　泰志君）　学童クラブ、西小及び東小の国庫補助金がそんなに変わらないんじゃないかという御質問だと思います。これにつきましては、確かに人数で見ますと大分違うように思うんですけども、人数の幅、基準額の幅がそれぞれありまして、その基準額の幅の部分が、人数が違うように見えるけども、金額の差はそんなに、幅が1段階上になっただけという幅になりますので、そんなに変わらないということであります。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　その右のほうを見ると、延べ人数が６５２人、１９３人、１６０人というふうに、これ西小と東小を比べると約3倍だし、南から比べると4倍ですね。これでも１ランクしか違わないということですかね。もしそのランク別の数字があれば見せていただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　小椋町民課長。

○町民課長（小椋　泰志君）　ただいまちょっと手元に資料がありませんので、また取り寄せて回答させていただきます。（「休憩」と呼ぶ者あり）

○議長（牧田　武文君）　じゃあ、しばらく休憩いたします。

午前１０時０２分休憩

午前１０時０６分再開

○議長（牧田　武文君）　再開いたします。

小椋町民課長。

○町民課長（小椋　泰志君）　お待たせいたしました。

まず、この学童クラブの補助金につきましては、何点か分かれております。一つには、いわゆる学童クラブの規模に応じまして運営基準額というのがあります。これにつきましては、西小学童クラブが一番大きいもんですから２８６万２，０００円という運営基準額になっております。東小学童クラブにつきましては１０９万７，０００円の運営基準額になっているんですけれども、東小学童クラブの場合には小規模クラブ加算というものがあります。これが５５万２，０００円という金額が出ておるというところがあります。それと、西小学童クラブにつきましては、個人負担金につきましては歳入のほうに上げております。東と南につきましては個人負担金はそれぞれの委託の地域協議会のほうで入っているというために、西小学童クラブの場合についてのいわゆる運営費については、この歳入の部分、個人負担分を差し引いていきますので、その分が事業費として規模的に若干下がっていってるというために、補助金の額もそれに応じて若干下がってきてるというところの差が出てきてるというところであります。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、財産収入から町債について、２９ページから４２ページまで、質疑ありませんか。

４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　３２ページのインターネット公売収入２３万５，０００円。どういったものがこの収入になっているのか。

○議長（牧田　武文君）　大村財務課長。

○財務課長（大村　哲也君）　インターネットの公売収入でございますが、消防自動車を公売にかけた分の収入でございます。よろしくお願いいたします。

○議員（４番　福田　茂樹君）　はい、結構です。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

3番。

○議員（3番　吉田　文夫君）　４６ページ。（「４６ページ、行ってない」と呼ぶ者あり）まだかいな。（「まだです」と呼ぶ者あり）はい、ごめんなさい。

○議長（牧田　武文君）　よろしいでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、歳出の総務費、４３ページから５８ページ、監査委員費まで、質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番　清水　成眞君）　決算書、ページ４９、５０ページです。説明資料は４６ページになります。路線バスの維持補助金であります。路線バス利用協議会が開催されていると思いますけども、これの毎回の、どのような内容で開催されているのか、お聞きしたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　椎名課長。

○企画観光課長（椎名　克秀君）　町の路線バス利用協議会でございますが、年に1回あるいは数回開催しております。平成２４年につきましては、地元のほうから路線バスの時間等の見直しの御要望がございまして、それにつきましての審議をお願いいたしましたり、あと、補助金制度の御説明を申し上げましたり、それから利用状況の御説明を申し上げているところでございます。以上です。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（1番　清水　成眞君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

3番。

○議員（3番　吉田　文夫君）　４６ページのＰＣＢ処理費ですね、この費に２４年度は６７８万７，２００円使われているんですが、この処理は完了されているんですか、まだ残っているんでしょうか。

○議長（牧田　武文君）　総務課長。

○総務課長（山根　猛昭君）　ＰＣＢの廃棄物につきましては、感圧紙につきまして２８８キログラムについて、２４年度に処理させていただきました。そういう感圧紙といいますか、事務系に使いました用紙等のＰＣＢの含まれておるものについては、これで全て処分をしたということで

ございます。

○議員（３番　吉田　文夫君）　はい、わかりました。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　５０ページ、防災行政無線管理一般経費３３５万。当初予算より１００万以上ふえていますけど、その理由は何でしょうか。５０ページ。

○議長（牧田　武文君）　松原課長。

○危機管理課統括監（松原　茂隆君）　この経費につきましては、無線の修繕、維持管理、それから保守点検等でございますが、修繕費がふえたということでございます。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　修繕費が１００万ふえとるということで理解すればいいですか。

○議長（牧田　武文君）　松原課長。

○危機管理課統括監（松原　茂隆君）　はい、そのように理解いただければと思います。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

３番。

○議員（３番　吉田　文夫君）　５２ページ、空き家対策事業について、ずっといろいろ出されているんですが、負担金補助金及び交付金の２０万円というのが余っているんですが、これはどういうことでこういうふうになったんでしょうか。なぜ使われなかったんでしょうか。

○議長（牧田　武文君）　吉田参事。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　失礼します。当初、空き家バンク事業で予算を組んでいましたけれども、ちょっとその空き家に定住がなかったものですから、ちょっとそれは不用になりました。以上です。（「何ページだ」「５２ページ」と呼ぶ者あり）（発言する者あり）

○議長（牧田　武文君）　ちょっと、３番。

○議員（３番　吉田　文夫君）　今、説明、合っていましたか。その定住対策になられた方がいなかったということですか。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　はい、そうです。

○議員（３番　吉田　文夫君）　そういうことですね。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　はい、そういうことです。

○議員（３番　吉田　文夫君）　はい、わかりました。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　おっしゃるとおりです。

○議長（牧田　武文君）　いいですか。

○議員（３番　吉田　文夫君）　はい、わかりました。いいです。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　今のところで、当初予算、空き家バンク事業として１０３万組んであったわけであります。今回、その記述が一切消えてしまっている状況ですね。空き家バンクは定住者をふやすための事業ってさっきも言われましたけど、予算書には、その修繕に対する費用じゃないんですか。ですから、その事業の結果が一切書いてない。予算書には１ページ使って書いてあるのに、これはどういうことですか。説明してください。事業結果が書いてない、定住対策のところが。

○議長（牧田　武文君）　吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　今、予算書との対比ですけども、予算書には確かにそういうふうに１０３万円組んでおりますが、実際に結果としてはなかったということでございます。以上です。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　そういうのは、結果として書かなきゃいけないんじゃないですか、ここに。だってわからないじゃないですか、だって全然、所管でないですし。

　予算のときにたしか、これはしっかりやんなさいよということだったと認識をしてるんですけども、そういうことがないように。結果としてなかったということですか。ということは、１年間、仕事をしてないということですか、じゃあ。

○議長（牧田　武文君）　吉田参事。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　議員さんがおっしゃるとおり、ちょっと結果としてはなかったようです。申しわけございません。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（４番　福田　茂樹君）　じゃあ、ほかの案件。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　５０ページの一番下の地域自主活動支援交付金９００万。当初、立ち上げのときに３年間だか４年間だかという目的がありました。それをあえてもう１年、もう１年という形で延ばしてきているんですけど、自立を促すということはしないんですか、これは。

最初の約束事と違う。

○議長（牧田　武文君）　吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　済みません、地域自主活動支援交付金のことですか。

○議員（４番　福田　茂樹君）　はい。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　昨年も申しましたが、自立は進んでいると思います。それで、結局交付金をベースに、各地域でそれぞれの取り組みをしていただくということで、ずっと検証なりをしながら続けているということです。以上です。

○議員（４番　福田　茂樹君）　済みません、今ちょっと意味がわからなかった、最後の部分が。

○議長（牧田　武文君）　ちょっとはっきり言ってもらえますか、マイクを使って。

もう一度お願いします。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　交付金のことでございますかね。ちょっと質問が、済みません、今、立て続けに質問があったものですから。交付金のことですか。（「自主活動支援交付金」と呼ぶ者あり）の……（「９００万」と呼ぶ者あり）９００万のことですかね。

これは、毎年補助金の検証を行っていまして、それで、全ての協議会で年々事業費がふえているというようなこともあります。それで、町としては１５０万という交付金は定額として、その他の活動に、経費についてはその取り組み内容によって県とか町の補助金を活用しながら進めていくということをしておりますので、そういったことで自立はずっと、地域ごとにそれぞれの取り組みをやっているということでございます。以上です。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　立ち上げのときに約束事として３年間、４年間という約束をしたわけですよ。それを今、延ばしていってる、１年ごとに。自立をさせないんですかって聞いてるんです、私は。

○議長（牧田　武文君）　吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田　弘幸君）　自立は、補助金はずうっと１５０万でいってるんですが、その自立はそれぞれ地域ごとにやってると思います。ですから、この交付金については予算のときにもそういったことで進めていくということでしております。以上です。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　あのですね、約束が今、違った状態で履行されてるということを今言ってるんですよ、立ち上げのときの約束が。言っとる意味、わかりますか。立ち上げのときには、３年間から４年間という約束で立ち上げたんですよ。それが今、１年、ぽつっとまた出て、

また１年お願いしますという形で今やってるんですよ。最初の約束と違うということを言っているんですよ、今。

○議長（牧田　武文君）　これは、ちょっと副町長のほうで、わかれば答弁願いますが。

副町長。

○副町長（森脇　光洋君）　１５０万の当初の約束というふうなお話がございました。議員御承知のとおり、各地域協議会のほうでは、先ほど参事も申し上げましたけれども、さまざまな活動を通じまして地域の自立に向けて自主活動をされているというのが事実でございます。そういう中で、いわゆるベーシックな基準額として１５０万というのを今まで町のほうで支援させていただいているというふうなことでございますが、協議会の中では、もっと支援金についてふやしていただけないかというふうな声も上がっているというのは、議員も御承知のとおりだと思います。当初のそういう約束も含めて、またどういうふうなあり方がいいのかということも、改めて内部のほうで検討させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　そういたしますと、質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費、５７ページから６６ページ、子ども手当費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、衛生費、６５ページから７０ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

１番。

○議員（１番　清水　成眞君）　６５ページの町営墓地一般管理費であります。毎年、これにつきましてはいろんなもろもろの議論がされておるわけでありますけども、やはりなかなか使用者がふえないというのが現状ではないのかなと思っております。そういう意味で、使用者を募集したと書いてありますけども、どのような形で募集をされて、どのような成果があったのか、お伺いしたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　小椋町民課長。

○町民課長（小椋　泰志君）　町営墓地の募集につきましては、無線放送、そして町報というやり方での募集をしております。２４年度は４件の申し込みがございました。特効薬というのがなかなかないものですから、継続してこういったやり方を地道に続けながら募集を続けていきたいというぐあいに思っております。以上です。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（１番　清水　成眞君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　１１番。

○議員（11番　杉原　憲靖君）　説明資料の１４４ページに、衛生費、保健衛生費ですね、子宮頸がん等ワクチン接種事業の件ですが、２４年度、２６名の方が接種を受けておりますが、今、全国的に副作用の、そういった報道がなされております。私も非常に心配をしておりますが、この２６名の接種者のうち、そういった副作用の事例というものはどんなんでしょうか。それをちょっと最初にお聞きします。

○議長（牧田　武文君）　前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田　敦子君）　ただいまの２６名の方でございますが、担当課のほうといたしましては、そのような副作用的な訴えというのは、こちらには届いておりません。以上です。

○議長（牧田　武文君）　１１番。

○議員（11番　杉原　憲靖君）　これはある程度時間がたってから、そういう事例も出るかもしれませんし、接種そのものの事業は、効果的なあれは証明されてる一つの事業なんですけれども、ちょっと複雑的な、もしそういう副作用が出た場合のあれと、接種を勧めるという観点からのあれは非常にちょっと複雑な心境に私もなっとるんですけども、そういう実例の出た場合の一つの対応策といいますか、今後の取り組みの一つの考え方についてもちょっとお聞きしておきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田　敦子君）　子宮頸がん等につきましては、定期予防接種に２５年度から適用をされております。その場合に、副作用は国が保障する定期予防接種の事故調査等の補償金というものに適用するかどうかというふうなことでございます。きちんとそういうルートにのった補償金等の対応というふうなことの取り組みになるかと思います。以上です。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（11番　杉原　憲靖君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようですから、質疑を終結し、進行いたします。

次に、農林水産業費、６９ページから７８ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。

５番。

○議員（5番　遠藤勝太郎君）　７２ページの上から１０行目でございますが、みささの味わい発信事業、これ多分米コンテストの上位入賞の米を買って、2キロずつ詰めて販売したというのだと思うわけですけれども、この内容をちょっと説明、お願いしたいと思います。どこで精米して袋詰めしたかというような格好の話をちょっと聞きたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　岩山農林課長。

○農林課長（岩山　靖尚君）　遠藤議員の御質問にお答えいたします。

みささの味わい発信事業ということで、米コンテスト等を取り組ませていただきました。米コンテストに出された米につきましての精米等につきましては、個人の精米所といいますか、そういうところを利用させていただきました。以上でございます。

○議長（牧田　武文君）　5番。

○議員（5番　遠藤勝太郎君）　個人から買い上げた単価というのはどのくらいで買われとるですか。

○議長（牧田　武文君）　農林課長。

○農林課長（岩山　靖尚君）　優秀賞をとられたお米につきましては、キロ当たり４００円ということで買わせていただきました。３００キロということで、きぬむすめ、コシヒカリ等６００キロを買い上げさせていただきました。

○議長（牧田　武文君）　5番。

○議員（5番　遠藤勝太郎君）　これ全部完売したということでしょうか。まだ在庫はあるということですか。それで、もし、ことしも続けられるようですけれども、生産者がもしこれ、出品される場合は、ある程度入賞を覚悟している方は保有米として残さないけんということだと思うですけども、そういうのはちゃんと手配というか、してあるでしょうかね。

○議長（牧田　武文君）　岩山農林課長。

○農林課長（岩山　靖尚君）　今年度も米コンテストを予定しております。それで、9月の町報のほうにも一応出させていただいております。それで、ある程度前年度出された方等も準備されておると思いますので、またもっと幅広く、これから声かけもして募集を募りたいと思っております。

完売につきましては、全て完売いたしました。

○議長（牧田　武文君）　ほかに質疑ありませんか。

１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　説明資料のほうですけども、農地制度実施円滑化事業の、これ、

右の欄に心理の様相を呈す、これどういう意味ですかね。わかりますか。（「何ページ」と呼ぶ者あり）１０１ページです。資料の右のほうに、下から5行目に、この土地が心理の様相を呈している、この意味がちょっとわからんのですけどね。

○議長（牧田　武文君）　真嶋事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋　峰和君）　済みません、これは森林という意味で、森林ですね。心理じゃなくて、単にミスということで、申しわけございませんでした。

○議員（10番　山田　道治君）　山のことですか。

○農業委員会事務局長（真嶋　峰和君）　山の、はい。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　それで、農業委員会としては対応は可能なんですか。面積が３３８．４ヘクタール、かなりの荒廃農地がありますけども、農業委員会の対応としてどういうことが可能かどうか。

○議長（牧田　武文君）　真嶋事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋　峰和君）　この３３８．４ヘクの荒廃農地ということで、これが昨年8月２７日に、例年やっとるんですけど、農地パトロールにおいて明らかになった荒廃農地ということで、これ、主な荒廃農地につきましては、台帳面積が農地、田畑、果樹園ということで、それで現況といたしましては既に山の中にある農地については、もう既に山林化しとるというようなことでこの数字が上がってきたわけなんですけど、荒廃農地については、またことしも農地パトロールによって数値が若干変わるんだろうと思いますけど、おおむね荒廃農地として処分すると。農業委員会の考えといたしましては、一応地権者の方に、あなたのこの土地はもう既に山林化してますよと、農地でない、非農地として扱いをしていいでしょうかという、これを通知して、了解がとれれば、これは非農地と認定して登記まで指導していくと、地目変更の登記まで指導していくというような考えでおります。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　森林化してない農地もあると思いますけれども、それの対応というか、そのまま放置されているのが荒廃農地だと思うんですけれども、農業委員会として、その森林化してない農地って、どう対応されるのか。また、農林課とどういう連携をとられているのかもお聞きしたいです。

○議長（牧田　武文君）　真嶋事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋　峰和君）　その前段に、遊休農地ということで、４４．６ヘクの遊

休農地があります。これについては、そのうち基盤整備、投資した田んぼが３０．７ヘクあります。これについては、やはり投資しとる農地でございますから、やはり守っていかなきゃいけないと。これは特別というんですかね、これは農地として荒廃化しないように守っていくと。これについては、もう明らかになっていますので、これも同じく土地所有者について農林課と協力しながら耕作できるような状態に持っていきたいというような考えをしております。

○議長（牧田　武文君）　だめ。

○議員（10番　山田　道治君）　１０番。

○議長（牧田　武文君）　3回しただろ。

○議員（10番　山田　道治君）　あら、3回もしたかいな。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

5番。

○議員（５番　遠藤勝太郎君）　３０ページの中段のところにナラ枯れ病対策費と、それから松くい虫の防除事業費があるわけですけれども、これ毎年、空中散布をヘリコプターで松くいはされとると思うわけですし、ナラ枯れについては木に穴をあけて直接入れるというようなことをされてるようですけども、ことしも相当ナラ枯れも見えるようですし、松くいも進んどるというふうに思うわけですけれども、結果、実証された結果、検証されて、どのくらい効果があったかというのも担当からちょっと聞きたいですけどね。毎年、松くいはされとるようですけども、効果はどのくらいあるものか、ちょっと聞きたい。

○議長（牧田　武文君）　岩山農林課長。

○農林課長（岩山　靖尚君）　松くい虫につきましては、6月に2回、松くい虫の防除をしております。効果につきましては、明らかに倉吉等の山の状況、また三朝の山の状況とを比較した場合に、やはり松くいの状況というのは、山の状況が大丈夫な状態に保たれていると思っております。

また、ナラ枯れにつきましては、毎年直接木にドリルで穴をあけて、片柴地内１７０本ほど、そういう駆除を行いました。やはり駆除の影響はあると思っておりますが、どうしても広がっていくといいますか、この状況はとまるということは今のところできませんが、きょうもその確認の飛行ということで、中部でヘリコプターで担当のほうが今現在、三朝の山を飛んで調査しております。その中で、ナラ枯れが集中している部分につきまして、その部分を本年度のナラ枯れ対策ということで対応していくように考えております。以上でございます。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、商工費、７７ページから８２ページ、公園管理費まで、質疑ありませんか。

１番。

○議員（１番　清水　成眞君）　７７ページの三朝温泉観光活性化戦略調査事業でありますが、観光協会に委託されているということであります。この中で、データの収集はされておられるということがありますし、観光商品の開発等々があったということであります。どのような成果があったのか、お聞きしたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名　克秀君）　失礼いたします。事業といたしましては、震災等緊急雇用対策、あるいは重点分野雇用創出事業というところでございますが、それぞれ三朝町商工会、あるいはＮＰＯみささ温泉、三朝温泉観光協会、岡山大学等へ事業を委託をしておる中で、観光分野、あるいは商工分野の事業に取り組ませていただいておるところでございます。この部分につきましてのＩＴ化等でございますが、ミササラドン等を利用しましたグッズの製作販売でありますとか、ポップ等の制作等によりまして三朝温泉のブランド化を推進しておりますし、あるいは空き店舗、温泉街のイメージにつきましての案作成でありますとか種々のイベント協力によりましての温泉街の活性化に努めていただいておるところでございます。

○議長（牧田　武文君）　１番。

○議員（１番　清水　成眞君）　そういう事業でミササラドンのキャラクターの製品だとかというふうなことでありますけども、これを誘客につなげなければいけないと思っておりますが、この１年ですかね、やられたのは。成果といいますか、言うなれば三朝温泉の旅館、宿泊数も年々減っておる中での対応といいますか、そういうものをちょっとお聞きできればと。

○議長（牧田　武文君）　椎名課長。

○企画観光課長（椎名　克秀君）　事業検証を行いながら、次に続けていくものでありますとか、あるいは手法等も検討していきながら事業を推進していきたいと思っております。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

○議員（１番　清水　成眞君）　もう一つあるんですが、ここでは。

○議長（牧田　武文君）　えっ。

○議員（１番　清水　成眞君）　別なのがあるんですけど。また。

○議長（牧田　武文君）　じゃあ、後で。

１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　商工費の中にあります森林資源の保護・活用事業なんですけども、説明資料では５４ページ。ここを見ますと、草刈りされたのはいいんですけども、その効果とか事業の行われていることが森林浴やグリーンツーリズムなどを通じ、地域間交流や住民の交流が行われる、これ具体的に教えてください。

○議長（牧田　武文君）　早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　この事業は、シルバー人材センターに委託しまして……。

○議員（10番　山田　道治君）　中身だけ。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　林道の……。

○議員（10番　山田　道治君）　ええ、草刈りは知っているんですけど、その前段に書いてある……。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　ああ、これですね。

○議員（10番　山田　道治君）　はい。そのことについて。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　それで、こういう目的で林道をきれいにしていくということが、こういう効果につながっていくという目的で林道の適正な管理をしていくということで、地域協議会でも林道を使った交流活動等もされておりますので、そういうところに成果があったかというふうに考えております。以上でございます。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　グリーンツーリズムなどは、どんな具体的なグリーンツーリズムがなされたんですかね。林道があるのは地域と地域を結ぶから交流があるだろうというのはわかりますけれども、グリーンツーリズムに関してはどんなことが行われましたか。

○議長（牧田　武文君）　早苗課長。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　特にグリーンツーリズムについては、結果は出ておりません。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　そういうことは抜きにして、じゃあ草刈りをされたと書かれたほうがわかりやすいですけどね。いいです。

○議長（牧田　武文君）　早苗課長。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　そういうふうに思われますけれども、林道等も適正に管理して、三朝町の森林はきれいだというふうな認識を持っていただくということに努めたいということで

考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　1番。

○議員（1番　清水　成眞君）　同じく７７ページ、７８ページです。温泉観光客ニーズ調査事業でありますが、これはブランナールみささでの観光客の分析をされたということであります。ブランナールみささの観光客にのみのアンケートだと思っておりますが、どのようなことがわかったのか、教えていただければと思います。

○議長（牧田　武文君）　大村財務課長。

○財務課長（大村　哲也君）　三朝温泉の観光客ニーズ調査でございます。これは議員おっしゃるとおりブランナールを拠点にして、宿泊された方にアンケートを行うというもので、その中には、単にブランナールに来られたことだけに質問するのではなくて、今までどういったような温泉地に行かれたことがあるのでしょうかといったような質問もさせていただいて、お客さんの温泉地に対するニーズというのを調査したというようなことでございます。それとあわせてインターネットでこれ全国発信しまして、アンケート形式でウエブアンケートというのをやりまして、そちらのほうでも三朝温泉、あるいは鳥取県の観光地に対する思い入れ等を質問形式で捉えて分析しております。

○議長（牧田　武文君）　1番。

○議員（1番　清水　成眞君）　調査結果については、まだでしょうか。

○議長（牧田　武文君）　大村課長。

○財務課長（大村　哲也君）　調査結果は分析済みで、ブランナールと、それから今、こちらのほうで保管しておりまして、来年の部分に向けて、あるいは今年度の部分で活用しておるところでございます。

○議長（牧田　武文君）　1番。

○議員（1番　清水　成眞君）　私たちも見ることができるということでしょうか。

○議長（牧田　武文君）　大村課長。

○財務課長（大村　哲也君）　はい、結果については、御提示させていただきたいと思いますので。

○議員（1番　清水　成眞君）　わかりました。

○議長（牧田　武文君）　2番。

○議員（2番　藤井　克孝君）　７８ページですけど、三朝温泉街再生プロジェクト事業の中で、説明資料５２ページですけど、三朝温泉ブランド化事業の進展、ちなみに景観保全のためとか、また空き店舗の未利用地の活用についてと、三朝温泉周辺開発基本計画、基本プランを具体化し、

三朝温泉街の再生に取り組むことで三朝町の観光政策を推進したとありますけど、具体的にちょっと、どのようにされたのか、お聞きしたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名　克秀君）　失礼いたします。三朝温泉街の再生プロジェクトということで、平成２３年からプロジェクトを立ち上げさせていただきまして、温泉街の空き店舗の状況でございますとか、あと施設的な部分につきまして御検討いただいているところでございます。

平成２４年につきましては、このプロジェクトに中心になっていただきまして、現在の三朝温泉街の空き店舗、１６店舗あったわけでございますが、その空き店舗の調査をいただき、あるいはそれの活用に向けての調整に向けたということがございますが、そのプロジェクトとしての第１期の報告書をまとめる資料にさせていただいております。

○議長（牧田　武文君）　２番。

○議員（２番　藤井　克孝君）　一般質問でもありましたけど、三朝温泉街の観光地、観光客がいろいろ少なくなった面で、お客さんが、人通りが少なくなったと。それがいまだに未使用、空き店舗とかいろいろ、その周りの周辺も何にも変わってないのが今の現状だと思うんです。実際自分もそう思っとられると思うんだけど、これからどのようにされていくかというのを、ちょっと具体的にお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　椎名課長。

○企画観光課長（椎名　克秀君）　済みません、私の説明が足りませんで申しわけございませんでした。２４年度の部分につきましては、昨年の夏でございましたが、報告書として出てきておるものでございます。それ以降の動きといたしましては、その１６店舗のうち３店舗につきまして、先日の一般質問の部分でもございましたが、３店舗が開業に向かっていかれたという状況がございます。引き続きまして、このプロジェクトにつきましては三朝温泉街をハードの部分で再生していく中の提案といたしまして御検討をいただきながら進めさせていただきたいと思っているところでございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（２番　藤井　克孝君）　はい、いいです。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

まだある、続けて。２番。

○議員（２番　藤井　克孝君）　済みません、８０ページですけど、説明資料が４０ページ。公園施設維持管理費の分で、ちょっとお聞きいたします。桜づつみ公園等のトイレ及び町内公園等の

清掃、除草管理を行い、町民及び観光地の利便、向上を図ったと書いてありますけど、桜づつみ等はきれいにされているんですけど、小さな部分ですね、町内の部分。そこは一業者でされているのか、何業者か、シルバーとかいろいろ含めて入ってされているのか、終わった時点でどのように報告等があるのか、ちょっとお聞きいたします。

○議長（牧田　武文君）　大村財務課長。

○財務課長（大村　哲也君）　財務課のほうでシルバー人材センターのほうに委託している部分、それから観光協会のほうで清掃はされますけれども、トイレットペーパーとか消耗品の補給をしている場所等いろいろあります。それぞれについては終わってから、ここの部分はどうだよというようなことの点検報告をいただくようにしております。よろしくお願いします。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

2番。

○議員（2番　藤井　克孝君）　この質問をさせてもらったのは、テニスコート場とか運動広場の部分のテニスコートの部分とか、今、ゲートボール場に使用されている、ああいうところの中のね、除草が行き届いてない部分が、もう通行する部分に関して目立つんで、その除草作業がどのように……（「違う」と呼ぶ者あり）え、だめ。（「所管が違う」と呼ぶ者あり）

○議長（牧田　武文君）　ちょっと違うだんな。

○議員（2番　藤井　克孝君）　あ、違う。（「ちょっとこちらの部門じゃない」「生涯学習」と呼ぶ者あり）ああ、本当。済みません、ならいいです、別に。

○議長（牧田　武文君）　答弁できんけん、違ったとこでな。

よろしいですか、これは。できるだかいな。

大村財務課長。

○財務課長（大村　哲也君）　ここの部分でやっておる部分の公園という部分につきましては観光関係の部分でございまして、今、先ほど議員がおっしゃる部分については体育・スポーツ施設のほうの管理のほうの分野になりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　いいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費、８１ページから８６ページまで、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、消防費、８５ページから８８ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、教育費、８７ページから１００ページまで、質疑ありませんか。

４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　９０ページ、教育委員会外部評価事業、どういう評価が得られたのか、お聞きしたいと思います。自分たちの選んだ委員の中で。

○議長（牧田　武文君）　遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　６月議会でも御報告させていただきましたが、おおむね評価が高く、４段階評価のＡとＢ、Ｂが若干あるということで、非常によくやっとるという評価をいただいたということでございます。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　ということは、改善点はないということで理解すればいいんですか。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　評価の方法が余りにも詳細にわたっとるということがございました。それで、外部の方が中身についてちょっと事業がわからんという部分がございますので、今年度以降はもう少し大枠の評価項目にして、いわゆる簡単な細目に、簡単な評価事項にして評価をしようということになっております。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　簡単にすればするほど大ざっぱになってしまうんじゃないですか。違いますか。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　大枠でございますので、外部の方、詳細についてはなかなか承知しづらいということがございますので、どこの市町村とも大枠の取り組みがなされております。その点において枠を広げてまいりたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　まず９４ページの、これちょっと押さえていただきたいのは、文

化費、職員人件費が上がっています、８１０何万。その後、ずっとはぐっていただいて９８ページ、世界遺産登録推進職員人件費６６０万上がっております。前の方のは多分、三徳山なんかのいろいろな調査をされる事業だというふうに認識をしながら、この世界遺産登録のための人件費、下の２つの事業を年間でやられたのかどうか。ほかに何かやられたのか。要は６６０万かけてどういう事業をやられたのかということを聞いている。

○議長（牧田　武文君）　遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　ちょっと休憩をいただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　ちょっと休憩ですか。

なら、休憩して、再開を１１時５分といたします。

午前１０時５２分休憩

午前１１時０６分再開

○議長（牧田　武文君）　再開いたします。

大村財務課長。

○財務課長（大村　哲也君）　福田議員の給与の振り分けのことでございます。

おっしゃるとおり、初めのほうの文化財のほうについては文化財室の職員１名分、それから世界遺産推進職員についても職員１名分の給与から諸手当、それから共済費等についての額を計上しております。このように、職員配置に基づいてそれぞれの決算額について振り分けて決算書のほうに表現させていただいておるところでございます。

○議長（牧田　武文君）　遠藤総務課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　その人件費を使って、世界遺産ではどういう事業をしたかということでございます。それにつきましては、決算書の９６ページ、説明資料１６４ページに記載いたしておるわけでございますが、特に誰がどうこう、人件費の振り分けでございますので、その人件費でもって何をしたということではなく、教育委員会業務の文化財業務、世界遺産業務、あわせて決算書に記載の事業を取り組んだということで御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　では、決算書の１６４ページにあります世界遺産登録事業というのは、年間、１年間かけて１２万だったということで理解すればいいですね。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　基本的にはそうなっておりますけれども、例えば三徳山の総合

調査報告書等々の事業、文化財のほうに記載のものも、世界遺産運動として取り組んだものもございますので、単に１６４ページの決算説明資料のみということではないということを御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　先ほどの説明で、１６４ページ、世界遺産登録の事業ですというふうに説明されたので、それを確認したところですよ。だから、きのうの一般質問じゃないけど、理解してますけど、世界遺産登録としての項目の事業はこれだけですねという話をしただけです。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　これだけではないということで御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　もう一回。遠藤課長。

１００ページ、調理センターの２つの項目、職員人件費と一般経費。説明資料で１６５ページと１６６ページがあります。人件費には６６０万組んでありながら、ここ、多分パートだと思います、１，２００万、賃金等です。計何名の方がここで仕事をしておられるかということ。そして、きのうの答弁の中で、これは安い経費の中でやっているんだという答弁をいただいたもので、これが本当に安い費用なのかどうかをちょっとお聞きしたい。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　決算説明資料では１６６ページに賃金等がございます。非常勤の職員６名プラス、アレルギー食対応職員、半日、０．５人役ということで計上しております。昨日の答弁の中で安いというお話がございました。それは、いわゆる正規職員が全くいない中で給食をつくっておるという部分において、これ以上安くできることではないというような答弁だったというふうに思っておりますので、いわゆる臨時職員のみで運営しているところで安いということで御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　説明資料に給食回数が書いてあります。結局この職員の方々の実動はこれということ、この回数ということで理解すればいいんですか。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　はい。このほかにもブランナールの炊飯等の業務が出ておりますけれども、あと職員研修等もございますので、１９０日プラスアルファの部分があるというこ

とで御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　4番。

○議員（4番　福田　茂樹君）　1年間３６５日ある中での１９０日プラスアルファ、多分アルファはわずかだと思います。これがこの人件費に本当に適当かどうか。時給幾らで計算してあるんですか、これ。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　臨時職員の有資格者の賃金を適用いたしております。町の一般的な８８０円でございます。

○議長（牧田　武文君）　9番。

○議員（9番　知久馬二三子君）　済みません、９４ページの中ほどにあります地域が育てる子ども総合対策事業というのはどういう事業でしょうか。説明資料、ちょっとよう探してなくって、決算書のほうの９４ページです。中ほどに。どんな事業でしょう。

○議長（牧田　武文君）　西田生涯学習課長。

○生涯学習課長（西田　寛司君）　決算説明資料の１７２ページをごらんいただきますと、青少年育成事業で一番下の欄に地域が育てる総合対策事業ということで、これで書いておりますが、中身としましては、自然体験活動キラリ塾ということで、例えば今年度実施しました事業で説明させていただきますと……。

○議員（9番　知久馬二三子君）　平成２４年度。

○生涯学習課長（西田　寛司君）　２４年度でいきますと、泊の港で魚釣りをする体験ですとか、あるいは冬、船上山でスノーシューを履いた雪山体験とか、そういうものをやっている事業でございます。さらに9月の終わりから１０月にかけて寄宿舎を利用して行っております宿泊体験塾、そういう事業をこの事業で行っております。以上です。

○議員（9番　知久馬二三子君）　はい、わかりました。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（9番　知久馬二三子君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

6番。

○議員（6番　平井　満博君）　９６ページ、説明資料は１６３ページですけれども、国立公園編入調査費、この１００万ちょっきし出ておるんですけども、これは、ここの説明資料では鳥大の地域学部の小玉教授に調査委託ということですけども、基本的には、ぼい投げという言い方はお

かしいですけども、１００万払うから調査してくれという考え方でこの予算が組んであるのかお聞きしたい。

○議長（牧田　武文君）　遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤　英臣君）　基本的には専門的な知識が必要となりますので、その部分におきましては鳥大の先生のほうに全一任ということになるわけでございますが、例えば調査時点におきまして邪魔になるような木であるとか、周辺環境を整える必要があるというようなときには町の職員あたりが対応いたしておりますので、町が全く関与していないということではないということを御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（６番　平井　満博君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

２番。

○議員（２番　藤井　克孝君）　決算書の１００ページの上段から７番目です。体育施設の一般管理経費、これのちょっと具体的な、どの業者が入ってどのように管理されて、どのように報告を受けてされているのか、ちょっとお伺いいたします。

○議長（牧田　武文君）　西田生涯学習課長。

○生涯学習課長（西田　寛司君）　体育施設の管理につきましては、シルバー人材センターに委託して管理をお願いしております。それについては日誌をつけていただき、その都度職員で確認しております。先ほどもお話にございました、失礼しました、多少草が大きくなっているのも見受けられるというような御意見も聞くわけですけど、その都度シルバー人材センターと協議しながら対応するようにしてまいってきております。以上です。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（２番　藤井　克孝君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

４番。

○議員（４番　福田　茂樹君）　９８ページの三朝町体育協会委託金２００万。毎年上がっている金額であります。これも先ほどありましたように丸投げなのかどうなのか。実際これが足りているのか足りてないのか。で、１７５ページの説明資料には駅伝で成果があったというふうな表現がしてあります。これ実際の中身がよくわからないんですよ、毎年上がってますけど。

○議長（牧田　武文君）　西田課長。

○生涯学習課長（西田　寛司君）　こちらにつきましては、三朝町の体育振興を進めている中心の団体である体育協会に委託するわけでございますが、従来、各競技部にお願いして行っておりました大会、例えますとグラウンドゴルフ大会ですとかゲートボール大会をそれぞれ競技部で主催し実施していただく、そういう経費もこの中に含まれておりますし、各種駅伝競走大会への派遣、これも体育協会のほうで行っておりますので、そういう経費も含まれております。ただ、ここでは、大きなものとしては駅伝競走大会、あるいは郡民体育大会への派遣、そういうものが特に成果があったんではないかということで記載させていただいております。以上でございます。

○議員（４番　福田　茂樹君）　いや、足りてるのか足りてないのか答弁がない。

○議長（牧田　武文君）　西田課長。

○生涯学習課長（西田　寛司君）　現段階では足りておるというふうに認識しておりますが、競技部においては、もう少し上げてもらったほうがいいというような御意見も伺っておりますが、現段階では現状で本年度につきましても進めていると、昨年についてもその成果に基づいて今年度は同額で進めているというような現状もございます。以上でございます。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（４番　福田　茂樹君）　苦しい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

２番。

○議員（２番　藤井　克孝君）　９４ページですけど、旧中津分校の管理費３，９６２円、これについてちょっと説明をお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　大村財務課長。

○財務課長（大村　哲也君）　旧中津分校につきましては、行政財産の部分から分離して管財のほうで管理しとるわけなんですけれども、ここにネットワークの電源がありまして、ここの電気代を払っておるというようなことでございます。よろしくお願いします。

○議員（２番　藤井　克孝君）　はい、いいです。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費から予備費まで、９９ページから１０４ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、その他全般について質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ないようでしたら、質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案第６０号、平成２４年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定に対する質疑を終結します。

議案第６１号、平成２４年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

１番。

○議員（１番　清水　成眞君）　国民健康保険の事業であります。監査委員さんの意見書の１９ページに書いてありますが、中ほど、滞納繰り越し分の徴収率がいかにも低く、全体で７７．７％は余りにも低いと言わざるを得ないということであります。この点についてどのように考えておられるのか。よろしくお願いします。

○議長（牧田　武文君）　石原税務課長。

○税務課長（石原　伸二君）　国民健康保険税の滞納繰り越し分につきまして、現在、収入未済額は、約９０名いらっしゃいます。その中で、高額滞納上位２０件で約６割の未納ということになっております。また、上位３０件でおよそ４分の３の滞納を占めている状況がございます。その中で、広域連合におよそ４割を委託しておりまして、徴収困難事案がある中で、広域連合ではおよそ３割の徴収をしていただいております。そういったことから、今後も引き続き広域連合に委託をし、滞納の圧縮を図っていきたいというふうに考えております。以上でございます。（「日程に委員会が組んであるが、所管だけ」と呼ぶ者あり）

○議員（１番　清水　成眞君）　所管ですけど……（「当初に聞くならええよ」と呼ぶ者あり）所管なので、何でもええ……（「いいけ」と呼ぶ者あり）いいです、わかりました。

○議長（牧田　武文君）　これ、よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

議案第６２号、平成２４年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第６３号、平成２４年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第６４号、平成２４年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第６５号、平成２４年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第６６号、平成２４年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

１番。

○議員（１番　清水　成眞君）　これも監査委員さんのところからですけども、２６ページであります。滞納額が７４０万円あると。この対策に取り組む必要があるというふうに指摘されておりますが、これについてどのような対策に取り組むということを考えておられますか。

○議長（牧田　武文君）　早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　下水道事業の特別会計の滞納額でございます。決算書の６ページに記載しておりますが、現年でいきますと１６７万２，０００円、それから滞納繰り越し分で５７０万円ということで、過去に温泉等の倒産の部分も含まれております。ただ、今現在使われておるところにつきましては、分納誓約等をしていただいて徴収をしております。それから税務課と連携しながら債権の取り立てを行っているという状況にあります。以上でございます。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

○議員（１番　清水　成眞君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようですから、質疑を終結し、進行いたします。

次に、議案第６７号、平成２４年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第６８号、平成２４年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第６９号、平成２４年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第７０号、平成２４年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第７１号、平成２４年度三朝町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、質疑ありませんか。

８番。

○議員（８番　横木　文雄君）　決算説明資料の２０９ページを開いていただきたいと思います。２２年度から２４年度までの給水単価と給水原価が上がっておりますが、給水単価と原価が逆転しているのが２３年度です。２４年度も同じように１３０円と１３４円４銭ということになっております。給水単価よりも給水原価が高いということは、これは赤字でございます。本年度の総合的な会計、総体では黒字になっておりますが、その黒字額は受託事業のおかげで黒字になっているということであって、基本的には昨年度も２４年度も同じように給水単価よりも給水原価のほうが高いという状況は、水道事業会計の総括の中では全然触れられてない。経営のポイントについて認識がないではないかというふうな気がするんですが、その点についてどのように考えておられるのか。

それから、もう１点は、監査委員の資料の３０ページです。その中で、平成２４年度末で１，

６００万の未収金があるということになっております。この会計は現金主義でなくて発生主義でございますから、未納金がふえてくると会計そのものの現金不足を起こすことになります。そういうことを踏まえて、資金管理が非常に難しくなってくるではないかというふうに思いますが、水道の場合は給水栓を閉めるという方法によって、電気代等と同じように給水をとめることによって徴収することもできると思うんですが、その徴収方法についてどのようにしておられるのか、その２点についてお伺いします。

○議長（牧田　武文君）　早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　赤字になっているではないかということにつきましては、総合的に検討していきたいと思いますし、漏水等も発生しておりますので、順次老朽管の更新を行いながら、漏水等のないように整備を進めていくということと、それから徴収方法につきましても、現在のところ、給水しているところについては滞納はございませんけれども、滞納というか、滞納はありますけれども、分納誓約等を受けながら、少しずつでも入れていただいているという状況にあります。悪質なものについては給水停止というような方法をとるようなことも検討しながら進めてまいります。いずれにいたしましても、経営につきましてはトータル的に庁内で検討しながら進めていきたいというふうに考えておりますので、御理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（牧田　武文君）　８番。

○議員（８番　横木　文雄君）　昨年から逆転しているんですよね。その原因をきちっと究明する必要がある。そうしないと、将来にわたって赤字が継続される心配があるというふうに思います。

それから、滞納繰り越しについては、やっぱり水道の給水によって利益を得ているという、そういう実態からすると、それに対して水道料金を払うというのは当たり前のことなので、きちっと給水停止等を執行しながら料金を徴収するということでないと、他の給水者に迷惑をかけることになりますので、その辺をしっかり対応していただきたいというふうに思います。答弁はいいです。

○議長（牧田　武文君）　早苗水道課長。

○建設水道課長（早苗　睦巳君）　今言われたことを実行できるように頑張りたいと思います。ありがとうございます。

○議長（牧田　武文君）　よろしいでしょうか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

議案第７２号、平成２４年度三朝町国民宿舎事業会計決算の認定について、質疑ありませんか。

１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　事業報告書の総括に６，０００万の赤字の理由が書いてあるんですけども、休憩が大幅減したと、８月、９月は。で、宿泊が１月から３月にかけて伸び悩んでいると。これはもともとどれくらいの数字を見込まれて、こういうふうに表現されたのかなということをお聞きしたいと。さらに、この数字の減が売り上げに、平均単価でいいですから、幾らに相当するのかということもお聞きしたい。

○議長（牧田　武文君）　知久馬国民宿舎管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君）　細かい数字はちょっとお答えできないわけでございますけども、平均単価もそれぞれツアーによって違いますし、ならここで、いつ、この日の部分がキャンセルになったという数字もここではお答えできませんので、申しわけないですけど、また後日にお願いしたいというふうに思います。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　その数字がちょっと知りたかったのは、結構無理な数字を立てられて予算化されているんじゃないかなというふうに思うわけです。毎年マイナスの原因が書いてあるということで、はっきり毎月、今月は何人ぐらいを入れる予定だというのがないと、減っただふえただということは言えんのじゃないかなと思います。そこの手元になかったら、後日、資料をいただきたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　知久馬管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君）　予算につきましては、単年度である程度利益を見込みながら、ある程度の目標を持って予算は設定しておるわけでございますけども、２４年度につきましては特にそういう傾向があった関係で非常に営業収益が少なかったということで、反省しながら現在進めておりますので、これ努力したいというふうに思います。

○議長（牧田　武文君）　１０番。

○議員（10番　山田　道治君）　後で資料だけお願いします。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君）　はい。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですね。

ほかに。

１番。

○議員（１番　清水　成眞君）　未収金が１，０００万近くあるんですけど、これは回収は可能なんですか。

○議長（牧田　武文君）　知久馬管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君）　それは昨年度も質問されたというふうに思いますけども、ブランナールの場合は企業会計でございまして、３月末で切る関係で、未払い金と未収金がどうしても上がってくるということになりますので、御了解願いたいと思います。

○議長（牧田　武文君）　よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑を終結し、進行いたします。

議案第７３号、三朝町特別会計設置条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第７４号、三朝町基金条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第７５号、三朝町税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

議案第７６号、三朝町国民健康保険税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案に対する質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております２２件の議案のうち、議案第６０号、平成２４年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、５人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　御異議なしと認めます。よって、議案第６０号、平成２４年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、５人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員

会を設置し、これに付託、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。

総務教育常任委員会から山田道治議員、清水成眞議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、杉原憲靖議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から山田道治議員、清水成眞議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、杉原憲靖議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君が特別委員に選任されました。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の２１件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田　武文君）　御異議なしと認めます。よって、議案第６０号、平成２４年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定についてを除く２１件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託いたします。なお、議案第６０号、平成２４年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定についても、それぞれ所管事項の審査を各常任委員会でお願いいたします。

○議長（牧田　武文君）　以上で本日の日程は全部終了いたしました。

あすからは日程表のとおり各委員会を行い、9月２０日の最終日は午後3時から本会議を開催いたします。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さんでございました。

午前１１時３６分散会